

平成30年度

公益財団法人新宿未来創造財団 第3回評議員会

議事録(議論内容)

※参考資料

平成31年3月19日

○高橋議長 それでは、ただいまより平成30年度公益財団法人新宿未来創造財団第3回の評議員会を開催いたします。

まず、議案第9号「平成30年度事業計画及び収支予算の補正について」を議題に供します。

事務局から説明をお願いします。

(資料に基づく説明省略)

○高橋議長 ありがとうございます。

ただいまの説明についてご意見のある方、ご発言をお願いします。それでは、議案第9号「平成30年度事業計画及び収支予算の補正について」は原案どおり了承するということにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高橋議長 ありがとうございます。

異議なしと認め、第9号議案は原案どおり了承いたします。

○高橋議長 次に、議案第10号「平成31年度事業計画及び収支予算について」を議題に供させていただきます。

事務局から説明をお願いします。

(資料に基づく説明省略)

○高橋議長 どうもありがとうございます。それでは、これから質疑を承りたいと思います。

○小菅評議員 東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成については、区内10カ所の特別出張所と、特別出張所と繋がりのある地域団体の連携がかなめではないかと考えます。気運醸成を図る方法について、財団の事業展開の中で具体的にどのように考え

ていますでしょうか。また、東京2020オリンピック・パラリンピックマスコットの普及についても、具体的に事業に入れていただきたいと思います。

2点目は、財団が展開する事業は年間106事業あり、これは大変な頻度です。業務量による負担が多いためか、職員に活気がないという印象もあります。職員の福利厚生費を手厚くできないでしょうか。

○岸田地域交流課長 特別出張所に関わって頂いている事業に、コミュニティスポーツ大会という事業がございます。特別出張所をとおして様々な地域団体の皆さまに実行委員として関わって頂いており、これは大変大事なことだと考えております。今後も、出張所と連携しながら、これまで参画のなかった地域団体とも、ますます連携を図りたいと考えております。

マスコットの活用についても、調整しながら活用を考えていきたいと思います。

○小柳事務局長 福利厚生については、現在インフルエンザの費用補助などを行っていますが、今後より活用されるよう努力が必要だと考えています。また、休憩室については課題があると認識しています。物理的にも可能な範囲内ではありますが、努力していきたいと思います。

○永木理事長 指定管理施設の管理運営においてはシフト制をとっており、職員の負担は相当なものがあると自覚し、考えているところでございます。年に一回の労働環境モニタリングおよび、労働衛生委員会を産業医とともに開催し、執務環境や職員の意見を聞きながら環境改善に努めておりますが、委員のご指摘のとおり、十分だという認識は持っておりません。与えられた条件の中で、どのように改善できるかが我々の大きな役割だというふうに思っております。これからもご指摘、ご意見をいただき、我々財団職員一同がこれからも持続的に発展できるよう努力してまいります。

○小菅評議員 日本では国を挙げて働き方改革を施行し、予算を盛り込んでいるところですが、31年度事業計画からはその様子が見えてこないという印象を持っています。31年度に具体的に職員の福利厚生になるような事業を挙げていただきたいということが1点目。2点目は、外国人の雇用はどう考えているかということ。最後に、5月の10連

休は具体的にはどのようなとり方ができるのか、教えてください。

○諏訪管理担当事務局次長 10連休も施設は開館しております。その中で祝日等に出勤する職員も出てきますが、必ず同じ日数はどの職員も休日が取れるシフトを組むことを原則としています。ただ、10日間の休日を連休にできるかは施設によって状況が異なるため、工夫してまいりたいと考えております。

○永木理事長 外国人の雇用については、現在、財団のような職種への就労については国や都からも話はありません。今後も状況を注視しながら、財団についても外国人にも活躍いただく時代が来るという予感はしております。

○高橋議長 東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成については、よろしいでしょうか。特別出張所との連携はいかがですか。

○岸田地域交流課長 東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成について、7-4-(1)①地域スポーツ・文化事業の推進（自主）において「みんなのスポカルフェスティバル」を開催します。特別出張所単位の地域で事業を実施している、地域スポーツ・文化協議会の活動周知機会として実施し、以降も地域で活動が続いていくようなレガシーを含めた構想を持っている事業です。

○桑島スポーツ課長 東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成事業として、トップアスリートとの交流事業を実施しています。新宿スポレクにおいても、オリンピック・パラリンピック種目の紹介や体験機会を提供しています。施設面では、新宿コズミックセンター壁面へのマスコットキャラクターのラッピングや、次年度は館内にオリンピック・パラリンピックコーナーをつくり、気運醸成を図っていくことを考えています。また、新宿区生涯学習スポーツ課、オリンピック・パラリンピック開催等担当課、また特別出張所等と連携しまして、1年前イベントや250日前イベント等も行っていきたいと考えております。

○今泉評議員 東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成事業については、新宿

区体育協会でも考えていますが、なかなか案が出てこない。皆さんで協力いただきご意見を出していただければ、非常にうれしいことです。

○金子評議員 職員の活気については、是非いきいき体操を取り入れて欲しいです。また、2020年を盛り上げる方法としては、地元にある国立競技場についての情報発信を区民の皆さんに対して積極的に行っていくと、親近感を覚えてもらえると思います。

○岸田地域交流課長 職員の朝の体操は、地域交流課と子ども支援課で始めており、職員からも継続したいという声が上がっています。

○佐藤事業担当事務局次長 事業面でもイベント前の開会式の時に体操をするという流れが定着してきました。各職員においても、意識して体操を取り入れていけるようにしてまいりたいと考えています。

○小柳事務局長 新宿コズミックセンター館内においても、壁面や廊下など活用できる部分がございます。アスリートの記録を紹介するなど、皆さんに共感を持って頂けるような活用ができるよう、工夫していきたいと考えています。

○谷頭評議員 友好都市との交流事業についてです。先日、新宿区女性海外研修者の会の14名でレフカダへ行ってまいりました。レフカダ市の文化センターに伺った際に、レフカダ市と新宿区の友好提携30周年を記念するポスターが掲示されていました。9月にレフカダから新宿区へ来訪されるという話もありましたので、記念ポスターはどこかに掲げていただきたいと思います。また今後、より人的交流を考えていただくことは可能でしょうか。

○森田地域交流課多文化共生担当課長 今年度は友好提携30周年ということで、ギリシャのハーフマラソンに新宿区民の参加のご案内をいただき、参加者の募集を協力しています。また、ご来訪の予定についても認識していますので、新宿区と協議しながら十分におもてなしができるよう検討を進めていきたいと考えております。

○岸田地域交流課長 友好提携30周年を記念してレフカダ市に作っていただいたロゴについては、新宿区も認識しております。9月に来訪された際は、掲げておもてなしをするなど、新宿区と調整を進めてまいりたいと思っております。

○小菅評議員 放課後子どもひろばについてです。これまでは子どもの居場所という考え方があったところを、学童クラブ機能付きの拡大に伴い、子どもを育成し学校や家庭でできない体験をさせてくれる場所というふうに、保護者の中でも理解が浸透し、評価していただいているということを感じます。ますますひろばプラスに期待しています。

サイエンスフェスタについてです。30年度に実施された「子どもフェスタ」の当日、保護者の方にお話を伺ったところ、子どもに学校ではできない体験をさせられるという意気込みで参加していることがよく分かりました。1,000円のプログラムでも負担にならないというようなお話もありました。負担は少ないほうが良いかもしれませんが、ある程度は受益者負担の原則で、今後も質の良いプログラムを継続して実施していただきたいです。

○武富子ども支援課長 学童クラブ機能付き放課後子どもひろばは、現在17校で運営しています。平成31年2月末現在で653人が登録しており、前年度の同月に比べて136.3%となっています（平成29年度は16校で運営）。新宿区では、学童クラブと学童クラブ機能付き放課後子どもひろばを選択いただけるようになっています。ひろばを選ぶ保護者の方から評価をいただいている点として、ひろばは学校内で運営しており子どもを学童クラブに移動させる必要がないという点と、プログラムが充実している点がアンケートからも分かっております。

サイエンスフェスタは10周年を迎え、周年事業の「子どもフェスタ」として3月2日に実施しました。延べ参加者6,000人目標のところ、7,000人を超える方にご来場いただきました。今後も新しい団体・企画を取り入れて従来サイエンスフェスタよりも魅力的な内容を企画していければと思っております。

○高橋議長 よろしいですか。

それでは、これで議案第10号の質疑を終了させていただきたいと思います。

議案第10号「平成31年度事業計画及び収支予算」について、原案どおり了承すること

にご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高橋議長 ありがとうございます。

では、異議なしと認め、議案第10号は原案どおり了承することといたします。

以上で、本日予定された議事は全て終了いたしました。

議事はこれで終了させていただきます。ありがとうございます。

(以下、報告事項は省略)